

平成 3 0 年度事業計画（案）

事業計画

時 期	内 容	備 考
平成 30 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月	各事業実施 （詳細別紙資料 2 - 3） ① 情報発信・人材育成事業 ② 普及啓発事業 ③ 調査研究事業 ④ 公開活用のための整備に係る事業 ⑤ その他の事業	
平成 30 年 5 月	第 1 回会議 ・平成 29 年度事業報告について ・平成 29 年度収支決算について ・平成 30 年度魅力発信推進事業の補助 金申請内容について	場所：行田市役所等
平成 30 年 12 月	第 2 回会議 ・平成 30 年度事業の進捗状況について ・平成 31 年度事業計画案について ・平成 31 年度収支予算案について	場所：行田市役所等

平成30年度収支予算（案）

資料2-2

【収入の部】

(単位:千円)

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	予算比較増減額 (C) = (A) - (B)	備考
補助金	25,750	41,000	△ 15,250	国・市補助金
雑入	1	1	0	預金利息等
貸付金	12,000	12,000	0	市貸付金
合計	37,751	53,001	△ 15,250	

【支出の部】

(単位:千円)

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	予算比較増減額 (C) = (A) - (B)	備考	
会議費	50	50	0	会議資料印刷、飲物等	
事業費	情報発信・人材育成事業	7,800	27,000	△ 19,200	各種プロモーション、ボランティア育成等(資料2-3)
	普及啓発事業	5,900	5,000	900	イベント参加、絵画コンテスト等(資料2-3)
	調査研究事業	5,300	2,300	3,000	足袋蔵等詳細調査等(資料2-3)
	公開活用のための整備に係る事業	4,700	5,000	△ 300	説明版、案内板設置(資料2-3)
	その他事業	1,800	1,000	800	
事務費	151	601	△ 450	日本遺産連盟負担金 振込手数料、郵便料、旅費等	
貸付金返済費	12,000	12,000	0	市貸付金返済費	
予備費	50	50	0		
合計	37,751	53,001	△ 15,250		

①情報発信・人材育成事業

No.	事業名	区分	概要	予算額(千円)
1	「足袋・足袋蔵」デジタルプロモーション事業	拡充	平成29年度事業として構築する日本遺産ウェブサイトについて、観光プロモーション調査の結果等を踏まえた多言語化を実施し、広く海外に対して情報発信する。	400
2	「足袋・足袋蔵」プロモーション事業	新規	平成29年度に実施する観光プロモーション調査の結果等を踏まえ、訴求力のある日本遺産観光パンフレットを作成し、観光案内所やイベント等で配布する。また、日本独自の文化である足袋と観光資源豊富な行田のまちの魅力を国内だけにとどまらず、海外に向けて発信させることを目的に、有名ブロガー等を活用し、SNSによる情報発信を行う。	5,000
3	郷土博物館における足袋関連の展示の充実	新規	御三階櫓展示室の壁面に、日本遺産構成文化財を紹介するパネルを設置、展示することで、郷土博物館に訪れた観光客へのPRや市民の郷土意識醸成を図る。	500
4	観光ガイド育成事業	拡充	観光客の受入体制を強化するため、観光ガイドを新規に育成するとともに、既存の観光ガイドの知識の向上などの人材育成を行う。	400
5	足袋蔵コーディネーター育成事業	新規	日本遺産の意義とストーリーを理解して語り継ぐ人材や、足袋蔵等の保存・活用、またそれらを活用したまちづくりをアシストしてくれる人材を育成する足袋蔵コーディネーター育成講座を開催する。	1,500
①情報発信・人材育成事業 合計				7,800

②普及啓発事業

No.	事業名	区分	概要	予算額(千円)
6	日本遺産サミットへの参加	継続	日本遺産認定ストーリーが一同に会する「日本遺産サミット」にブース出展し、行田の日本遺産についてのPRを行う。	300
7	Japan Expoへの参加	新規	パリで開催されるヨーロッパ最大の日本カルチャーの祭典「Japan Expo」にブース出展及びイベントステージに参加し、足袋や足袋蔵を中心とした行田のPRを行う。	2,700
8	日本遺産勉強会・講座の開催	継続	日本遺産や、認定された行田市のストーリー及び構成資産、日本遺産を活かしたまちづくりに対する理解を深めるために連続講座を開催する。	500
9	足袋蔵モニターツアー・足袋づくり体験ツアー	拡充	行田の足袋や足袋蔵について、広く周知するとともに、意見集約を図るため、平成29年度に実施する基礎調査を踏まえたモニターツアー・足袋作り体験ツアーを実施する。	1,900
10	足袋検定の実施	継続	博物館入館者を対象とした行田足袋の歴史に関するクイズを実施し、全問正解者には「行田足袋博士認定証」を交付する。	300

11	小中学生による足袋に関する 絵画コンテスト	新規	子どもたちの郷土愛育成のため、市内全小中学校（小学生3年生以上）を対象として、足袋をテーマにした絵画コンテストを実施する。優秀作品は表彰し、中央公民館に展示する。	200
②普及啓発事業 合計				5,900

③調査研究事業

No.	事業名	区分	概要	予算額（千円）
12	足袋蔵等の近代化遺産の詳細調査	拡充	日本遺産の構成資産のうち、詳細調査が行われていない足袋蔵等歴史的建築物について、文化財的価値の究明を主目的に詳細調査（建物実測調査）を行う。	2,300
13	足袋蔵等再活用のマーケティング・リサーチ	拡充	平成29年度に引き続いて、足袋蔵等歴史的建築物の所有者に対する意向調査等を実施する。また、平成29年度に実施するアンケート調査で把握された施設整備ニーズの具現化に向けたプランの作成及び日本遺産を活用した中心市街地のまちづくりプランのイメージ図を作成する。	3,000
③調査研究事業 合計				5,300

④公開活用のための整備に係る事業

No.	事業名	区分	概要	予算額（千円）
14	ぱっとわかる案内板設置事業	継続	平成29年度に引き続いて、日本遺産のストーリーや構成資産の概要・位置図・写真を掲載した案内・説明板や、構成資産の個別説明板、歩行者用案内板を作製・設置する。また、主要な構成資産である足袋蔵巡りを目的に車で行田市を訪れた観光客が、足袋蔵巡りの拠点であるバスターミナル駐車場を迷うことなく利用できるよう、誘導案内板を主要道路に設置する。	4,700
④公開活用のための整備に係る事業 合計				4,700